

グリーンベルト事業について

グリーンベルト事業、里山砂防事業

多治見市、土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、行政（市・県・国）と地域（住民・中学生）が連携して保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

< 基本理念 >

土岐川流域グリーンベルト整備事業は、互いの連携・協力のもと、はげ山から再生した丘陵を、より安全で豊かな都市山麓につくりあげていくものである。

< 基本方針 >

- ・山麓斜面を防災的に強い樹林地とし、土砂災害を防止する
- ・土砂災害の恐れのある地域に対し、適正な土地利用に誘導する
- ・防災機能が高く、種の多様性に富む樹林地を保全・創出する
- ・生活に憩いをもたらす自然景観を保全する
- ・身近な自然体験（環境学習や森林レクリエーション）の場を提供する

■ 目指す樹林の姿



- マツ枯れによるアカマツの立枯れ・折損・倒木
- 常緑広葉樹の低木・亜高木林の繁茂

- ・切る木
ヒサカキ・ソゴなどの常緑樹、樹種を問わず株立ちしている木で、細い木、枯れている木
- ・残す木
ツツジ・コナラ等の落葉樹、樹種を問わず太くて丈夫な木など



目標樹林（落葉広葉樹林）

- 様々な木や下草が
“バランスよく生育している森”へ

■ 樹林整備活動（里山砂防）地区



■ 中学校と連携した活動状況（例年実施している主な活動）



室内学習「砂防・森のはなし」



森の土の観察



森の木の観察

■ 地域協働によるグリーンベルト事業と里山砂防事業



地域共働による
身近な自然体験の場の提供



市民による樹林整備活動



記念発表会
20周年
手づくり郷土賞授与式